

大網白里市ファミリー・サポート・センター ファミサポ通信

Vol.3
2020. 12月

大網白里市ファミリー・サポート・センター 〒299-3265 大網白里市上貝塚347番地
大網白里市子育て支援館内 TEL.0475-73-5711 FAX.0475-70-2177

令和2年度のファミサポの活動

今年度は新型コロナウイルス感染拡大を受け、市の様々なイベントが中止となり施設利用にも制限が生じ、提供会員養成講座や交流会は中止となりました。利用会員の新規登録、利用依頼は今まで通り受け付けています。

～令和2年度上半期～ コロナ禍の活動状況



新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言により、千葉県が特定警戒都道府県と位置付けられたことを受け、5月末まで市内の幼稚園・小学校が休園休校となり、4月5月の利用はありませんでした。5月末の緊急事態解除宣言後は保育施設等への送迎、塾・習い事の送迎など利用数が増えました。

- ★ 援助件数 157件 ★ 援助時間 160時間
- ★ 延べ利用者数 21名 ★ 延べ援助者数 9名

会員登録数	利用会員 69 (新規 6名)	提供会員 39 (新規 0名)	両方会員 2 (新規 0名)
活動エリア	増穂地区 (72%)、大網地区 (18%)、瑞穂地区 (10%)		
主な活動内容	・ 保育施設等への送り (42.0%) ・ 保育施設等への迎え (39.4%) ・ 自宅や学童保育から学習塾、習い事への送り (0.14%)		

「ファミサポ」サービスに係る感染対策



♠ 一人ひとりの基本的感染対策

- 身体的距離の確保 ● マスクの着用 ● 手洗い

♥ 日常生活上での基本的生活様式

- 手洗い・手指消毒・「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- 換気 ● 体温測定、健康チェック

♥ 車での送迎について

- 手に触れるところを定期的に除菌・抗菌をする。
～ドアノブ、ハンドル、シートベルトの留め具など
- 車内の換気を頻繁に。窓を少し開けるなど。
- エアコンは「内気循環モード」ではなく「外気モード」

♠ 場面別の新しい生活様式の徹底

- 買い物 ● 公共交通機関の利用
- 娯楽スポーツ等 ● 食事

～「新しい生活様式」の実践 ～厚労省 HP より～

提供会員

津野公邦さん

ー増穂地区ー



会員紹介シリーズ No. 1

会員紹介シリーズ 第1弾

子育て支援事業発足直後に会員登録して以来、十数人の子どもたちを見守ってきた子どもが好きな津野公邦さん（73歳）をご紹介します。

提供会員になったきっかけは？

45年間従事した旅館営業の仕事を退職した後、妻の勧めもあり町サポの子育てサポートクラブにスタッフ登録。二男七女、九人の子どもがいて常に子どもがいる環境だったため、子どもにかかわることに抵抗はありませんでした。

提供会員としての活動は？

大変ではありません。援助のスケジュールを組むことで生活にメリハリができ、地域で見守りができることに意義を感じています。

気をつけていることは？

預かるときは基本ほったらかし。援助依頼に適切に応えることを心がけています。親との信頼関係はとても大切で、家庭内のことに干渉しすぎないように気をつけています。子どもの名前を呼ぶときも親の呼び方にならうようにしています。

趣味は？

料理。得意なのはビーフシチュー！



お知らせ

◎ 子育て交流センターがオープン

児童館・子育て支援センター・学童保育の3つのエリアからなる子育て交流センターが4月にオープンしました。

児童館は18歳未満の児童と保護者が無料で利用でき、多目的室の貸し出しも行っています（260円/1時間）。子育て支援センターは0歳児から就学前の乳幼児と保護者が無料で利用でき、土日も開館しています。

〒299-3255 大網白里市みどりが丘3-18-4

（大網小学校 隣）電話：0475-86-7552

* アドバイザーの研修日記 *

10月22日・23日の2日間、全国アドバイザー講習会にオンラインで参加。コロナ禍での4市ファミサポの取り組み事例から、あらためて地域力の大切さを再確認。私たちも地域につながっていく必要を強く感じました。オンラインより対面の重要性を実感しました。

< 木村 >

令和2年度のスタッフです。
よろしくお願いします。

副館長

片岡浩之

事務

佐久間明美

アドバイザー

木村万里子